

## 1) 大会概要

- ・ 目的：知的障がい者による柔道の普及発展と、さまざまな人が互いに尊重し支えあう社会作りを目指し、更なる目標を得る機会とする。
- ・ 日時：令和1年12月7日（土）～8日（日）
- ・ 場所：日本文化大学 立志館（東京都八王子市片倉町 977）
- ・ 主催：全日本柔道連盟
- ・ 後援：全日本知的障がい者スポーツ協会、スペシャルオリンピックス日本
- ・ 協賛：羽田タートルサービス株式会社、ダイコロ株式会社、日本文化大学
- ・ 参加選手：12府県から男性31名、女性10名（去年は男性28名、女性6名）

## 2) スケジュール

【12月7日（土）】

### ●14：00～16：00 クラス分け・交流練習会

- ・ 大会参加選手だけでなく大会に参加しないID選手も一緒になって、各団体の指導員、大学生と知的障がい者柔道の練習プログラムを行なった。
- ・ 同時に担当者は試合に出る参加者の動きを観察し、翌日の試合のリーグ作りのための選手の力量を測る時間でもある。



一列になってフラフープを身体にとおし、リレーのようにつないでグループごとに競い合う。交流ゲーム的で参加者の緊張をほぐした。



リズム体操的な動きで、全身運動として準備体操として効果的であった。



寝技の練習としてボールを取り合う。ペアになって行なう練習も交流や力量を見るにはよい。



打ち込みや乱取りもあり、ここで最終的な力量の見極めが行なわれた。

【12月8日（日）】

●10：00 開会式

- ・昨年同様山下泰裕会長のビデオメッセージがあり、来賓の紹介、選手宣誓が行なわれた。
- ・今年から試合前に準備体操を兼ねたダンスが行なわれ、大会の雰囲気盛り上げた。



●10：40 試合（午前）

- ・当日配られた試合表によって、午前・午後で全49試合が行なわれた。
- ・第2回目の大会であること、数度にわたりルール確認が行なわれたことなどにより、本大会申し合わせ事項などによる混乱はほとんどなく、スムーズに試合が進行された。



●12：00～13：00 休憩

●13：00 試合（午後）

●15：15 表彰式・閉会式

- ・リーグごとに表彰がおこなわれた。3位までに入らなくてもメダルをもらえ、表彰台での各選手の満足そうな表情が印象的であった。



・表彰式の最後に全体集合写真が撮影された。



#### 4) 資料

●都道府県別、男女別参加者数（2018年、2019年）

	2018			2019		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
宮城	1		1			0
神奈川	9	2	11	12	4	16
山梨	1		1	1		1
静岡	1		1	1	1	2
愛知	1	1	2	1	2	3
岐阜	1		1	1		1
三重	1		1	2		2
滋賀	4		4	3		3
京都			0	1		1
大阪	5	2	7	5	1	6
奈良	1		1	1		1
和歌山	1	1	2	1	1	2
広島	2		2			0
島根					1	1
鹿児島			0	2		2
	28	6	<b>34</b>	31	10	<b>41</b>

●2019年第2回大会参加都道府県（地図）

